# ICANN77 ccNSO関連報告

第67回ICANN報告会 2023年8月1日

株式会社日本レジストリサービス(JPRS) 高松 百合 takamatsu@jprs.co.jp

## 基本情報

- ccNSO(国コードドメイン名支持組織)
  - 正式名称:

Country Code Names Supporting Organisation

- ICANNにおける位置づけ
  - ICANNの活動を支える支持組織の一つ。170を超える ccTLDが参加している。
  - ccTLDレジストリの連合体としてICANNの他支持組織や 諮問委員会などと協調しながら、ccTLD全体にまたがる グローバルな課題についてポリシー案を作成し、ICANN 理事会に勧告を行う。

JPRSは、日本を表す「.JP」を運用するccTLDレジストリとして ccNSOに参加。 ※JPRSからは遠藤淳、高松百合、米田文彦が参加



## ccNSOに関連する主な会合

- ※ 下線のセッションが特にccNSOメンバ向けの内容です。
- ※ 本日は、以下の①~③についてご報告します。

6月12日(月)	-Tech day -DNSSEC Workshop
6月13日(火)	<ul> <li>ccNSO Welcome &amp; Working Group Updates</li> <li>ccTLD Registration Trends Session</li> <li>ccNSO Strategic &amp; Operational Planning Committee</li> <li>(SOPC) and ccNSO Council Triage Committee</li> <li>ccNSO 20-year anniversary session 1</li> </ul>
6月14日(水)	-ccNSO DNS Abuse Standing Committee Update2 -ccTLD News session: general
6月15日(木)	<ul> <li>Policy Update③</li> <li>Legislative session: cyber security initiatives affecting ccTLDs</li> <li>ccNSO Council Meeting</li> </ul>

jprs

## 1 20 years of ccNSO

## 概要

- ccNSOが2003年設立後20周年を迎えるにあたり、 ICANN76に引き続き、これまでの歩みの振り返りを 目的としたセッションを実施
  - gTLDとccTLDに対するICANNの責任と権限は本質的に 異なるため、それらのポリシーはDNSO(Domain Name Supporting Organization)という単一SOが担うべきでな いという観点から、ccNSOはGNSOと独立存在することを 提起し実現した
  - ccNSO設立当初の状況や、現在活動中のワーキンググループなどに関するクイズへの参加を通じ、ccNSOという組織自体の理解を深める場となった

## 出題内容(一部紹介)

- ・ 各設問ごとに4つの選択肢より一つを選択
  - ワーキンググループの中で最も昔からあるものは?
    - 回答: Tech WG(2006年に設立)
  - 初めて開催されたccNSO評議委員会はいつか?
    - 回答:2004年12月のICANN21@ケープタウン
  - 最も長くccNSO評議委員を務めたのは誰か?
    - 回答: 堀田博文
  - 発足時の会員数は?
    - 回答:35



クイズの参加画面-

# 2ccNSO DNS Abuse Standing Committee Update

## 背景とこれまでの経緯

#### 背景

- DNS Abuseに関する議論がICANNコミュニティ内外で活性化している状況を受け、ccNSO内でccNSOとして(≒各ccTLDが)できることは何かという議論がはじまった

#### これまでの経緯

- 「ccNSOがDNS Abuseに関してすべきことは何か」にフォーカスした議論を開始(2021年10月@ICANN72)
- ccNSO評議委員会が設置したAd-Hocグループにて検討 (ICANN72以降~)
- ccNSOとして取り組む内容に関するロードマップ及び DNS Abuse Standing Committee (DASC)の設立を決定 (2022年3月@ICANN73)
- DASC初会合(2022年5月)
- 以降、ワーキンググループの設置等、具体的活動を開始

## ccNSOとして取り組む内容(2022年3月合意)

#### 主なポイント

- ① Enhance Sharing of information (情報共有の仕組み/場の強化)
  各レジストリでの活動を共有し合うプラットフォームとしてのccNSOの機能の強化
- ② Messaging(ccTLDの特性の外部への発信)
  様々なステークホルダー(GAC/政府、GNSO等)に向けたccNSOおよびccTLDコミュニティの特性(例:One size does not fit all)に関する情報発信
- ③ DNS Abuse Standing Committee (実装に向けた委員会の設置) 取り組み内容の実現・実装に向け、具体的検討を実施
- 4 Metrics (ccTLDの状況を観測可能とするための取組実施)
  DAAR[\*]への参加を含め、各ccTLDが状況を観測する方法を検討する

  体討する

  「\*]DAAR; Domain Abuse Activity Reporting https://www.icann.org/octo-ssr/daar

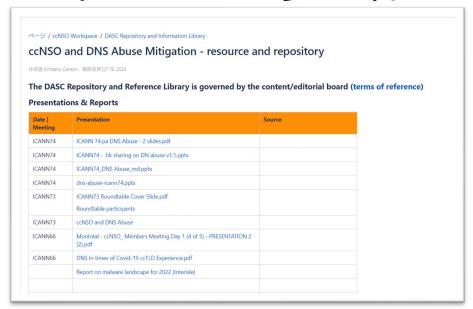
### ICANN77での動き

 DNS Abuseの低減(mitigation)に関連する参考 情報のレポジトリを共有

• 掲載するコンテンツの方向性について参加者に

照会

- 主なカテゴリ
  - ・発表資料やレポート
  - ・ツール
  - ・用語の定義やポリシー
  - ・関連記事やコメント



参照:https://community.icann.org/display/ccnsowkspc/ccNSO+and+DNS+Abuse+Mitigation+-+resource+and+repository

⇒今後、ccTLD運営者内での情報共有用メーリングリスト作成予定



# 3 ccNSO Policy Update

## ccPDP3 での検討内容

- ccPDP3では、2つの内容を検討
  - Part1: TLDの委任終了のプロセス
    - ・ccTLDの委任終了が確定した後、基本5年以内に ルート
      - ゾーンから削除を行う
      - ⇒ Part1は既に活動を終了。 2022年9月のICANN理事会にて内容を承認済み
  - Part2:プロセスのレビュー方法
    - delegation(委任)、transfer(移管)、revocation(解約)、retirement(委任終了)の判断に対するレビューメカニズム(再点検の方法)

## ICANN77での動き

- Part2(プロセスのレビュー方法)のポリシー承認に向けた進捗状況を報告
  - 最終報告書のパブリックコメント期間は2023年1月に 終了。内容に変更を要するコメント無し
  - 2023年3月(ICANN76会期中)のccNSO評議委員会にて、最終報告書を承認
  - 2023年4月~5月にかけてccNSOメンバーでの投票 を実施し、承認
- ccNSO評議委員会にて、ICANN理事会での承認に向けて作成された資料を承認
  - 今後、ICANN理事会で審議予定

